

# ベクトルの一次変換 メモ (『技術者のための線形代数学』より)

## 1

次の写像  $\varphi$  を考える. ※ただし  $(a, b, c, d \in \mathbf{R})$  とする.

$$\varphi: \mathbf{R}^2 \rightarrow \mathbf{R}^2$$

$$\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto \varphi(\mathbf{x}) = x \begin{pmatrix} a \\ c \end{pmatrix} + y \begin{pmatrix} b \\ d \end{pmatrix}$$

実数ベクトル  $\mathbf{x} = (x, y)^T$  を標準基底の線形結合で表すと次のようになる.

$$\mathbf{x} = x\mathbf{e}_1 + y\mathbf{e}_2$$

標準基底  $\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2$  の行き先は次のようになる.

$$\varphi(\mathbf{e}_1) = \begin{pmatrix} a \\ c \end{pmatrix}$$

$$\varphi(\mathbf{e}_2) = \begin{pmatrix} b \\ d \end{pmatrix}$$

したがって  $\varphi(\mathbf{x})$  について次の関係が成り立つ.

(1-1)

$$\varphi(\mathbf{x}) = x\varphi(\mathbf{e}_1) + y\varphi(\mathbf{e}_2)$$

記号を下記のように整理すると,

$$\mathbf{x}' = \varphi(\mathbf{x})$$

$$\mathbf{e}'_1 = \varphi(\mathbf{e}_1)$$

$$\mathbf{e}'_2 = \varphi(\mathbf{e}_2)$$

(1-1) は下記のように書き直すことができる.

$$\mathbf{x}' = x\mathbf{e}'_1 + y\mathbf{e}'_2$$

## 2

基底ベクトル  $\mathbf{e}'_1, \mathbf{e}'_2$  を任意に決めると  $\mathbf{R}^2$  の任意の要素  $\mathbf{x}$  をその線形結合で表すことができる。

$$\mathbf{x} = a\mathbf{e}'_1 + b\mathbf{e}'_2$$

$\mathbf{x}$  に一次変換  $\varphi$  を適用すると次のようになる。

$$\varphi(\mathbf{x}) = a\varphi(\mathbf{e}'_1) + b\varphi(\mathbf{e}'_2)$$

これは次の手順で証明することができる。

(※いったんここまで 2025-11-16)